

十勝・釧路・北網



ニュースのお知らせ
 最寄りの支社局
帯広支社
 ☎0155(22)0401
 F A X (28)2519
釧路支社
 ☎0154(41)3832
 F A X (44)2065
北見支社
 ☎0157(23)4666
 F A X (66)2175
網走支局
 ☎0152(44)2675
 F A X (61)2175

18年度から建て替え

弟子屈町 鑑別団地、5棟18戸に

【釧路】弟子屈町は、老朽化した鑑別団地の建て替えに2018年度から着手する。W造、平屋、5棟18戸を5カ年で整備する。解体や外構、委託を含めた総事業費に5億4000万円を見込んでいる。

【釧路】弟子屈町は、老朽化した鑑別団地の建て替えに2018年度から着手する。W造、平屋、5棟18戸を5カ年で整備する。解体や外構、委託を含めた総事業費に5億4000万円を見込んでいる。

総事業費は5.4億円

12年度から進めてきた鑑別団地の全14棟60戸の建て替えが完了したため、老朽化が著しい同団地に取り掛かる。美里4丁目13にある同団地は、1970年度から76年度にかけて10棟56戸で建設したもの。現地改築し、5棟18戸に集約する。コストダウンを図るため、W造、平屋、延べ300平方メートル以下に抑える予定だ。

学生らが課題抽出

【釧路】釧路市は8月30日、北大通などの中心市街地を歩いて意見を聞く「景観まち歩きワークショップ」を開いた。釧路工業高等専門学校建築学科の千葉忠弘准教授と同校と釧路公立などの学生14人が市街地を巡り、景観などの課題について考えた。市が年度内に作成するワークショップで中心市街地の課題を掘り下げた。

住宅建設で判断引き上げ

【釧路】釧路財務事務所は8月30日、2016年4～6月期の釧路・根室管内経済情勢報告を発表した。住宅建設と漁業で判断を引き上げたほかは横ばい。2年ぶりの上方修正となった「一部に弱さが見られるもの」の持ち直ししているとの前回判断を据え置いた。住宅建設は1.3%増の237戸。貸家は下回りの237戸。貸家は下回りの237戸。

耐震診断近く指名

【釧路】標茶町は、下水道施設の標茶終末処理場の耐震診断を近く指名する。業務期間は2017年3月まで。耐震強度を調べ、17年度以降の改修に向けた検討を進める。標茶町標茶13丁目38にある現施設は、87年に供用開始したもの。管理棟(R4)6月期経済情勢判断引き上げ

メガファームに補助

【帯広】池田町議会は、8月30日に開いた臨時会で8億4210万円を追加する一般会計補正予算案を可決した。大規模経営牧場(メガファーム)の建設を計画する農業法人に対し補助7億2216万円を計上。台風関連被害に対しては災害復旧費1億1731万円を措置した。

幹線道路3線の整備など

【帯広】北十勝4町国道整備促進期成会は8月30日、帯広開建で管内の幹線道路3線の整備や維持管理の予算確保に向けて要望した。国道241号など3線の幅員狭小区間の交通混雑緩和や防雪対策などの課題解消に必要予算確保を求めた。同会は音更町・土幌町・上土幌町、鹿追町の4町で構成。共有する交通課題の解決に向けて、2013年から要望活動を継続している。

安全管理体制

【北見】北見建設業協会(久島和俊会長)は8月30日、市内で工事現場を対象とした2016年度3回目のパトロールをした。労務委員4人と藤吉保憲事務局長、北見労基署安全衛生課の齊藤英臣、美安全専門官が参加。巡回した。市内の工事現場を対象とした2016年度3回目のパトロールをした。労務委員4人と藤吉保憲事務局長、北見労基署安全衛生課の齊藤英臣、美安全専門官が参加。巡回した。

小針土建らに功績賞

泥土リサイクル協 浚渫土再資源化で



【根室】泥土リサイクル協会(本部・愛知県、木村孟理事長)はこのほど、尾岱沼漁港水産流通基盤整備を施工する小針土建(本社・中津)に対し「泥土リサイクル功績賞」を贈った。同現場で処理システムに関わる3社も同賞を受賞した。

同協会の野口真一事務局長は「発注者にも理解をいただき、会員の技術を活用して大量の泥土有効利用を進めている」と同現場での功績を評価。小針土建社長は「受賞をきっかけに、あらためて環境に配慮した施工と、泥土処理に携わる排出事業者として建設

汚泥の適正処理、リサイクル促進に寄与していきたい」と話している。

簡易型総合評価 2件の結果詳細
 根室振興局農村村振興課は、8月18日に簡易型総合評価で開札した工事2件の結果詳細を次の通り公表した。

(1)入札額・税抜き②技術加算点③評価値、小計第3位以下略)

◆施工実績審査型
 ◇畑地帯営農用水ケネカ地区2工区Ⅱ予定価格8479万円▽井井建設Ⅱ落札①8180万円②13・00③36・52
 ◇畑地帯営農用水ケネカ地区3工区Ⅱ予定価格1億2211万円▽真壁建設Ⅱ落札①1億1860万円②14・00③36・87

【網走市】2016年度に創設した住環境改善資金補助制度による補助金を8月末の時点で、59件、計562万7000円を支出した。件数は当初予定に迫る勢だが、満額の助成が少なく予算に余裕があるため補助希望者を続けて募集している。利用者からは好評の声もあるため、アンケートなどを通じて利用実態を取りまとめ、継続するかを検討していく。

従来の市のリフォーム融資制度は50万～500万円の工事が対象で、市

8月末で59件登録

網走市の住環境改善資金補助

利用者が好評の声

いった理由から融資を受けず現金払いをしている。実態が明らかになった。新たに創設した住環境改善資金補助は10万円以上の外壁改修など建物の長寿命化、増築、断熱、省エネ化、バリアフリー

の金融機関が審査して貸し付けていた。市内の建設会社や工務店へのアンケートから、ニーズのある高齢者が所得や年齢の不安、工事が小規模で指定金額を満たさないと

化といった工事で、工事費の10%、10万円を上限に助成。さらに18歳以下の子どものいる世帯は最大20万円まで補助するほかに、太陽光発電システムと木質ペレットストーブ

の設置には、工事費の10%、最大5万円を支給する。すでに補助決定した59件の見ると、一般の住宅改修が46件で最多。屋根や外壁の塗装、窓枠の断熱サッシ取り付けといった

【帯広】池田町議会は、8月30日に開いた臨時会で8億4210万円を追加する一般会計補正予算案を可決した。大規模経営牧場(メガファーム)の建設を計画する農業法人に対し補助7億2216万円を計上。台風関連被害に対しては災害復旧費1億1731万円を措置した。

【帯広】北十勝4町国道整備促進期成会は8月30日、帯広開建で管内の幹線道路3線の整備や維持管理の予算確保に向けて要望した。国道241号など3線の幅員狭小区間の交通混雑緩和や防雪対策などの課題解消に必要予算確保を求めた。同会は音更町・土幌町・上土幌町、鹿追町の4町で構成。共有する交通課題の解決に向けて、2013年から要望活動を継続している。

【北見】北見建設業協会(久島和俊会長)は8月30日、市内で工事現場を対象とした2016年度3回目のパトロールをした。労務委員4人と藤吉保憲事務局長、北見労基署安全衛生課の齊藤英臣、美安全専門官が参加。巡回した。

【網走市】2016年度に創設した住環境改善資金補助制度による補助金を8月末の時点で、59件、計562万7000円を支出した。件数は当初予定に迫る勢だが、満額の助成が少なく予算に余裕があるため補助希望者を続けて募集している。利用者からは好評の声もあるため、アンケートなどを通じて利用実態を取りまとめ、継続するかを検討していく。

【帯広】池田町議会は、8月30日に開いた臨時会で8億4210万円を追加する一般会計補正予算案を可決した。大規模経営牧場(メガファーム)の建設を計画する農業法人に対し補助7億2216万円を計上。台風関連被害に対しては災害復旧費1億1731万円を措置した。

【帯広】北十勝4町国道整備促進期成会は8月30日、帯広開建で管内の幹線道路3線の整備や維持管理の予算確保に向けて要望した。国道241号など3線の幅員狭小区間の交通混雑緩和や防雪対策などの課題解消に必要予算確保を求めた。同会は音更町・土幌町・上土幌町、鹿追町の4町で構成。共有する交通課題の解決に向けて、2013年から要望活動を継続している。

【北見】北見建設業協会(久島和俊会長)は8月30日、市内で工事現場を対象とした2016年度3回目のパトロールをした。労務委員4人と藤吉保憲事務局長、北見労基署安全衛生課の齊藤英臣、美安全専門官が参加。巡回した。

【網走市】2016年度に創設した住環境改善資金補助制度による補助金を8月末の時点で、59件、計562万7000円を支出した。件数は当初予定に迫る勢だが、満額の助成が少なく予算に余裕があるため補助希望者を続けて募集している。利用者からは好評の声もあるため、アンケートなどを通じて利用実態を取りまとめ、継続するかを検討していく。

【帯広】池田町議会は、8月30日に開いた臨時会で8億4210万円を追加する一般会計補正予算案を可決した。大規模経営牧場(メガファーム)の建設を計画する農業法人に対し補助7億2216万円を計上。台風関連被害に対しては災害復旧費1億1731万円を措置した。

【帯広】北十勝4町国道整備促進期成会は8月30日、帯広開建で管内の幹線道路3線の整備や維持管理の予算確保に向けて要望した。国道241号など3線の幅員狭小区間の交通混雑緩和や防雪対策などの課題解消に必要予算確保を求めた。同会は音更町・土幌町・上土幌町、鹿追町の4町で構成。共有する交通課題の解決に向けて、2013年から要望活動を継続している。

【北見】北見建設業協会(久島和俊会長)は8月30日、市内で工事現場を対象とした2016年度3回目のパトロールをした。労務委員4人と藤吉保憲事務局長、北見労基署安全衛生課の齊藤英臣、美安全専門官が参加。巡回した。

【網走市】2016年度に創設した住環境改善資金補助制度による補助金を8月末の時点で、59件、計562万7000円を支出した。件数は当初予定に迫る勢だが、満額の助成が少なく予算に余裕があるため補助希望者を続けて募集している。利用者からは好評の声もあるため、アンケートなどを通じて利用実態を取りまとめ、継続するかを検討していく。